

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 10 日

評価対象事業		評価者	農水課長 茂木 健太郎
市民-23	実施事業	水産業振興運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
		主管課	農水課(産業振興課)
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	産業振興	施策の方針
			農業・漁業の振興

1 事業の目的

対象	漁業従事者等
意図	水産関係団体との連携を図るとともに、栽培漁業の推進などにより、漁業経営の安定化を図り、地域に即した漁業の振興を図るため。
効果	つくり育てる漁業の推進を支援することにより、水産業の振興を図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

・漁業協同組合への補助金の交付、各種水産関連団体への参加等により、水産業の振興を図った。 ・漁業者・関係団体等で組織する協議会の開催を行わなかった。 ・台風による漁具倉庫等の被害に対する見舞金を支給した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	1,865	6,575	当初予算(千円)	2,564			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他			その他				
	一般財源	1,865	6,575	一般財源	2,564			
	人員配置数	0.5	0.7	人員配置数	0.6			
事業経費運営	人件費(千円)	3,807	5,410	人件費(千円)	4,676			
	総事業費(千円)	5,672	11,985	総事業費(千円)	7,240			
	市民1人当りの経費(円)	32	68	市民1人当りの経費(円)	41			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	水産業の振興を図る上で、漁業協同組合への補助金等は適切な範囲で執行していく。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	水産業の振興は、市民の食卓に地場の新鮮で安全な海産物が届くなど、市民生活に大きく役立つことから、本市の水産業振興について協議を行う鎌倉市水産業振興協議会や、鎌倉・腰越漁業協同組合への補助金の支出等は今後も継続する必要がある、必要な事業費を計上していきたい。 漁獲高に限りはあるが、地場の水産物の供給に対する市民ニーズはあるため、今後も市が主体的に水産業の振興を図る必要がある。鎌倉・腰越漁業協同組合による朝市等で市民に地場の水産物を供給するなど一定の効果は出ているが、今後も安定的に供給していくためには、更なる努力が必要である。
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	鎌倉・腰越漁業協同組合への補助金を養殖事業に係る経費や販売促進に係る経費などに有効活用し、水産業の振興を図る。 「鎌倉市水産業振興ビジョン」を活用し、地場の水産物が市民の食卓に届くよう、新たな施策の検討を行う。 「鎌倉市水産業振興協議会」を開催し、本市の水産業の振興を図るための問題について協議する。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	鎌倉・腰越漁業協同組合補助金を事業に有効活用し、水産業の振興を図った。 漁業者等と一緒に、地場の水産物が市民の食卓に届くよう、新たな施策の検討を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	水産業振興のための新たな施策の検討を漁業者等と一緒に行ったが、具体的な施策の提案までには至らず、「鎌倉市水産業振興協議会」の協議内容として未成熟であったことから、同協議会の開催を見送ることとした。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	県内近隣市町の漁獲量(平成28年海面漁業生産統計調査より)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	171トン	1,114トン	95トン	591トン	1,301トン	5,837トン	43トン	58トン	17,611トン

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内他市町との漁獲量を比較すると、多い市と少ない市町との差が大きく、その中で本市の漁獲量は少ない市の部類に入っている。引き続き、本市の漁獲量が減少しないように、市として様々な支援策を実施する必要がある。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉、腰越両漁業協同組合の正会員数				単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
漁業活動を担っている主体であるため。	目標値	75	80	80	80	80	80		
	実績値	70	69	74	72				
	達成率	93.3%	86.3%	92.5%	90.0%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	漁業活動の担い手や後継者不足を招かないように、今後も様々な支援策を実施していく。
-----------------------	--